

# サクラツツジ

[木本] 《中間》



葉の幅が広いタイプ。細いものもある。



林縁に多いが、杉などに着生するものもある。



花期には遠くからでも見つけられる。

## 区別のポイント

葉は対生または3輪生する。屋久島では普通に見られる。

**形態** 常緑低木。高さ2～3m。

**分布** 四国（高知県）・九州（佐賀・鹿児島県）・沖縄

**名前の由来** 花の色がサクラに似ていることから。

**葉** 〈全体〉長楕円形から広披針形で長さ3～8cm。

〈付き方〉対生または3輪生。

〈葉柄〉5～10mmで褐色の毛がある。

〈基部〉くさび形。

〈葉先〉尖る。

〈縁〉全縁で少し波打つこともある。

**備考** 西部では嫌から好き。

**出典** 9, 14